

NTT-ME

GIS系サービスを中心に 一般市場向けSaaS型ソリューションを提供

一般市場向けにアプリケーション サービスをSaaS型で提供

NTT-MEは、一般市場に向けたアプリケーションサービスに注力している。その中で、同社が提供している地図情報基盤データ「GEOSPACE」を活用したアプリケーションビジネスをSaaS型で提供する新たな取組みを始めている。

不動産エリアマーケティング情報の 調査期間コストを大幅に削減 できる「GEOSPACE AIMZ」

昨今の不動産ビジネスの展開において、効率的な営業活動を行うために、速やかな新規顧客獲得につながるような高精度、高鮮度な不動産エリアマーケティング情報へのニーズが高まっている。

そこでNTT-MEは、こうした不動産業界向けのニーズに対応するため、不動産に関わる高い付加価値を有するエリアマーケティング情報を地図コンテンツ上に掲載し、インターネットで配信するサービスを検討してきた。すでに同社は、2003年よりNTTグループ会社のNTTネオメイトと協業し、デジタル地図及び航空写真を中心とした地図情報基盤データである「GEOSPACE」を提



NTT-ME
ネットワークビジネス事業本部
アプリケーションビジネス事業部
空間情報ビジネス部門
担当課長 高橋 喜一郎氏



NTT-ME
ネットワークビジネス事業本部
アプリケーションビジネス事業部
空間情報ビジネス部門
主査 栗山 雄三氏



NTT-ME
ネットワークビジネス事業本部
アプリケーションビジネス事業部
空間情報ビジネス部門
藤澤 陽子氏

供している。

GEOSPACEは、日本全域を網羅する電子地図と、国土23万km²の範囲をカバーしたオルソ航空写真が主体であり、多くの自治体や企業で利用されている。提供している電子地図は、NTTグループが自社の基盤設備等の管理を目的として整備した、全国すべての市町村を網羅した地図情報基盤データである。

「公共測量成果物である都市計画図や森林基本図等をベースに日本全国の地図情報基盤を整備したGEOSPACEの特性を活かし、今回、不動産事業者様、ディベロッパー様など不動産に関わるエリアマーケティング情報を必要とする事業者様向けに

サービス提供できるシステムを新たに開発しました。地図コンテンツ整備に付随して取得した不動産登記申請に関わる情報が不動産ビジネスにおいて大変有益であること、なおかつ、NGN等の光ブロードバンドサービスの提供開始などにより電子地図や航空写真等の大容量データのインターネット配信が容易となったことから、NTT-MEは大容量型ネッ

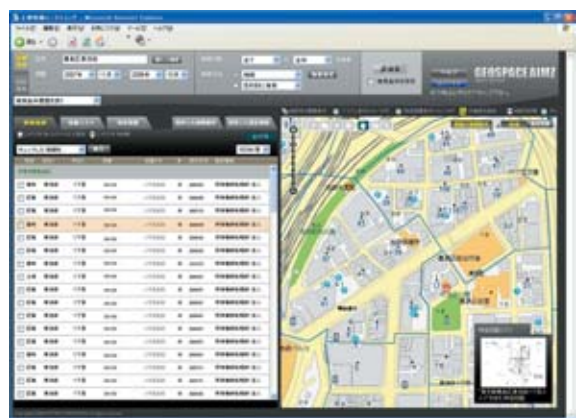


図1 GEOSPACE AIMZ

トワークによるSaaS型アプリケーションサービスとして『GEOSPACE AIMZ (ジオスペースエイムズ)』を提供しています。」(NTT-ME ネットワークビジネス事業本部 アプリケーションビジネス事業部 空間情報ビジネス部門 主査 栗山 雄三氏)

GEOSPACE AIMZの操作は非常に容易である。端末上で利用したい不動産情報をリスト化し、GEOSPACEの地図画面と連携して表示する。リスト上では、収集した不動産登記申請受付情報(所在、地番、受付日、登記の目的)のデータベースから、住宅ローン借り換え見込みのある物件、新築の見込みのある物件、駐車場等の土地活用の見込みのある物件等を、独自の予測手法により検索できる。検索内容から抽出した物件情報は、電子地図や航空写真と連動させて一目で確認できるように表示することができる。GEOSPACE AIMZ操作画面イメージを図1に示す。

「簡易な操作で高精度なリストの抽出が可能。地図や航空写真上で、その立地条件について精細な情報が確認でき、戦略的かつタイムリーな営業展開が可能となります。」(NTT-ME ネットワークビジネス事業本部 アプリケーションビジネス事業部 空間情報ビジネス部門 藤澤 陽子氏)

GEOSPACEを活用した3D-GISによる情報提供サービス

NTT-MEが今後注力しているのが、3D-GISを利用した情報提供サービスである。従来、

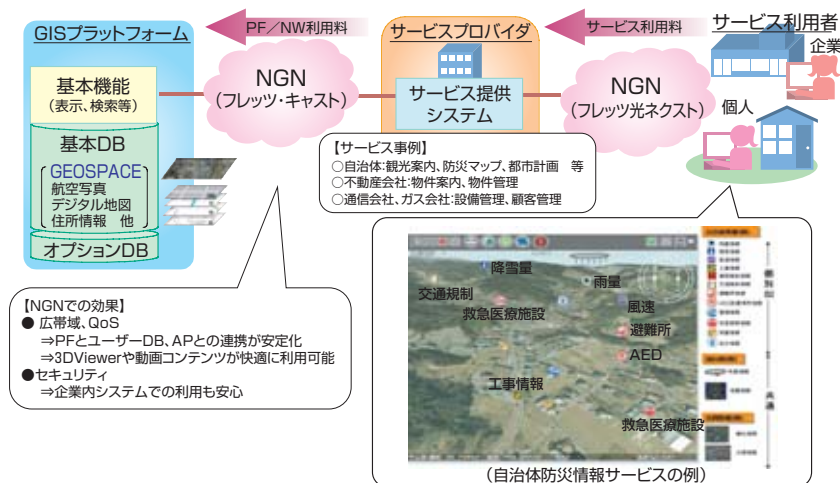


図2 3D-GISによる情報提供サービス

GISを活用したサービスプロバイダが個々に用意していた基本機能と地図DBを、サービスプロバイダに対してNTTグループ側でプラットフォームとして準備し、NGNを介してGIS機能を提供することで、高度なGISサービスを高品質、安価で、早期に提供可能にするものである。

図2で示すように、GEOSPACEなどを含めた空間情報コンテンツを活用し、Viewerを提供して、NTT-MEが提供するアプリおよびユーザーが自身で使用するアプリなどを地図上に重ねて利用する。NGNフレット網を通じてGISプラットフォームに接続し、サービスプロバイダが提供するサービスの上で、地図情報を活用することができる。

サービスプロバイダが各業界向けに様々なAPIを公開しているので、SIベンダーが企業向けにサービスを提供することができる。バックヤードでプラットフォームを構築するサービスと、アプリケーションレイヤ層でサービスする2つの展開のパ

ターンがある。観光案内、防災ハザードマップ、都市計画等の自治体サービスや物件案内、不動産物件管理向けサービス、通信会社やガス会社向けの設備管理、顧客管理といったサービスなど、今後の幅広いサービス展開が期待できる。

このような3D-GISを利用した情報提供サービスは、2009年初頭からの開始を予定している。

「GIS系のSaaS型ソリューションはまだ事例が少ないですが、弊社は日本全土の基盤情報となる地図情報を日々整備していきますので、世の中の事業者様、エンドユーザー様向けに幅広くご活用していただければと思います。」(NTT-ME ネットワークビジネス事業本部 アプリケーションビジネス事業部 空間情報ビジネス部門 担当課長 高橋喜一郎氏)

<お問い合わせ先>

(株)エヌ・ティ・ティ エムイー
ネットワークビジネス事業本部
アプリケーションビジネス事業部
空間情報ビジネス部門
TEL: 03-5217-9111